

## 6章 目的・目標の設定

本市では、健康課題の解決に向け、次のとおり目的と目標を定め、効果的かつ効率的な保健事業を実施します。

### 1. 目的

本市では、国保被保険者自らが健康な生活習慣を継続的に送ることができるよう取り組みを支援し、被保険者の健康保持増進及び疾病予防を図り、疾病の進行と重症化を防ぐための取り組みを進め、健康寿命の延伸を目指します。

実施にあたっては、地区の特徴を踏まえ、生活習慣病の予防・改善や疾病の早期発見・早期治療など健康づくりと医療費の適正化を進めます。

#### (1) 健康課題に関する目標

被保険者の健康寿命の延伸に向けて、医療費や特定健診等の分析結果から明らかとなった健康課題に関する中長期的及び短期的目標を定め、保健事業実施全般における成果指標とします。

なお、中長期的目標は、第2期データヘルス計画に結びつくものとします。

主な内容としては、医療費の上位を占める腎不全、糖尿病、高血圧性疾患の発症予防及び重症化予防と疾病の早期発見・早期治療を重点目標としました。

重症化しやすい生活習慣病について、国保部門及び健康部門の連携のもと、対策の実施を目指します。

表 25 健康課題に関する目標

■中長期的目標	
達成時期	第2期データヘルス計画終了年度末まで
目標	糖尿病性腎症による新規人工透析導入者を出さない。
■短期的目標	
達成時期	平成29年度末まで
目標	特定健診未受診者の中から受診者を増やす。
	特定保健指導実施率を2.5%増やす。
	健診結果から糖尿病性腎症の疑いのある方を医療機関に受診させる。

#### (2) 目標の設定理由

##### ① 新規人工透析導入者数の低減

疾病別医療費の分析において「腎不全」は、全体で最も医療費が高い疾病で、1人あたりの医療費でも上位を占めています。

また、人工透析患者の1人あたりの年間医療費は高額であり、糖尿病など生活習慣病を併発しています。

このように、人工透析導入による医療費増大の影響の大きさから、糖尿病の発症予防から糖尿病性腎症等の重症化予防まで一連の糖尿病対策を行い、新規人工透析導入者数を低減する対策は、中長期的な医療費適正化を図る上で重要といえます。

② 被保険者の健康の保持増進、疾病の予防及び保険給付費増加額の低減

被保険者の健康の保持増進と生活習慣病をはじめとする疾病の予防等に取り組むことで、将来の医療費の増加を低減することができると思います。

このことから、本市国保では、特定健診未受診者の状況を把握し、特定健診受診につなげることで、疾病の早期発見・早期治療及び疾病の予防をするとともに新たな疾病の重症化を防ぐことが重要と考え、保健事業に取り組めます。